



# 30正立

## フロントフォーク&フロントディスクブレ - キセット 取扱説明書

商品番号：06-01-0728

適応車種及びフレーム番号

Monkey / Gorilla	: Z50J	1300017 ~
	: AB27	1000001 ~
Monkey (FI)	: AB27	1900001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
  - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

### 正しく安全にご使用頂くために

- ・当製品は10インチ車専用のフロントフォークとディスクブレーキのセットです。取り付けには当社10インチリアドラムブレーキ用ホイール(06 09 033 / 054)が必要となります。
- ・また、スイングアームは12cmロングもしくは16cmロングを使用しそれぞれのスイングアームに見合ったりアショックを取り付けて下さい。
- ・ブレ - キフル - ド補給時にゴミや水を混入させないで下さい。又、化学変化を防止するため銘柄の異なるブレ - キフル - ドを混用しないで下さい。
- ・ブレ - キフル - ドは、塗装プラスチックゴム面を傷めるので部品類に付着させないで下さい。



### 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、平坦で足場のしっかりした所を選び車両を安定させた状態で行って下さい。
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。(ネジ部の破損及び脱落の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して下さい。
- ・フォークトップボルトを取り外す際にフォークスプリングによりトップボルトが飛び出す危険性がありますので、十分注意して下さい。
- ・製品及びフレームにはエッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因になります)
- ・ブレーキフルードはなるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行って下さい。(手荒れの原因になります)
- ・ブレーキフルードは塗装面、樹脂部品、ゴム製品類等に付着すると劣化及び損傷させるので作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いをして下さい。(部品の損傷、劣化の原因となります。)



### 警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識などが無い方は作業を行わないで下さい。(部品破損などの原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常個所の点検を行って下さい。(そのまま走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前は必ず各部を点検し、ボルト、ナットの緩みやオイル漏れが無いかを確認して下さい。又、走行中に異常が発生したと思われる場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常個所の点検を行って下さい。異常が認められた場合は、絶対にそのまま走行しないで下さい。
- ・ブレーキフルードは指定のブレーキ液を使用して下さい。銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。(トラブルの原因、化学変化の恐れがあります。)
- ・ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合はブレーキパッドは交換しブレーキディスクローターは脱脂して下さい。(事故につながる恐れがあります)
- ・ブレーキの取り付け作業については熟練したメカニックに依頼し、専用の設備、工具のある工場などで行って下さい。(不適当な取り付けは、事故につながる恐れがあります)

当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更した場合は、下記の当社製品が必要です。

取り付けネジサイズ10mmのミラー(各1個入り)

オーバルスライドタイプミラー (06 01 110)

NC31タイプミラー (06 01 111)

角スライドタイプミラー (06 01 112)

MINIミラー(右専用) (06 01 113)

ミラーアダプター(2個入り) (06 01 100)

純正ミラー及び取り付けネジサイズ8mmのミラー使用時のみ必要

フロントブレーキを油圧ディスクにした場合、フロントマスターシリンダーを取り付ける為、STDスロットルハウジング(ブレーキレバー一体式)を取り外す必要がありますので、当社製ハイスロットルセット若しくはホンダ純正部品が必要です。

当社製の場合

ハイスロットルセット(ケーブル長810mm)(09 02 0221)

ハイスロットルセット(ケーブル長700mm)(09 02 021)

当社製キャブレターキット用(KEIHIN PC18キャブレター以外)

ホンダ純正部品の場合

スロットルハウジング(1個) (53168 166 000)

スロットルハウジング(1個) (53167 GE4 000)

パンスクリュー 5x22(2個)(93500 05022 0G)

STDキャブレター及び当社製KEIHIN PC18キャブレター用

フレームNO. Z50J - 1300017 ~ 1510400の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。

遠心クラッチ車

コンビネーションスイッチASSY (02 01 015)

マニュアルクラッチ車

クラッチレバー&コンビネーションスイッチASSY (02 01 016)

## 特 徴

ハイパワーエンジンに対応した高剛性フロントサスペンションと強力なストッピングパワーを発揮するディスクブレーキのセットです。インナーチューブ径30mmのオリジナルフロントフォークは、フリーバルブタイプの減衰力発生機構により安定性を向上させ、リバウンド時のショックを低減させます。又、DUメタルにより作動性を向上させています。ディスクブレーキは、外径220mmのステンレス合金を使用し、錆に強く、高い耐久性を持っております。純正部品同様の安定した制動力が得られます。

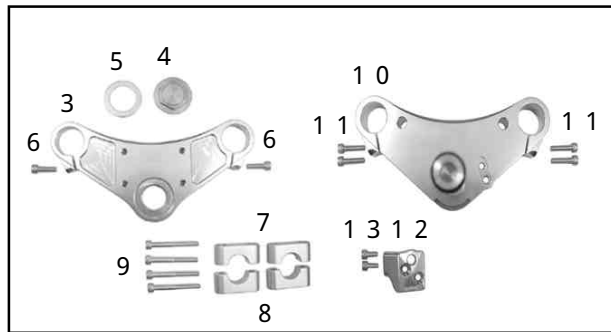
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。  
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

## ～ 商 品 内 容 ～

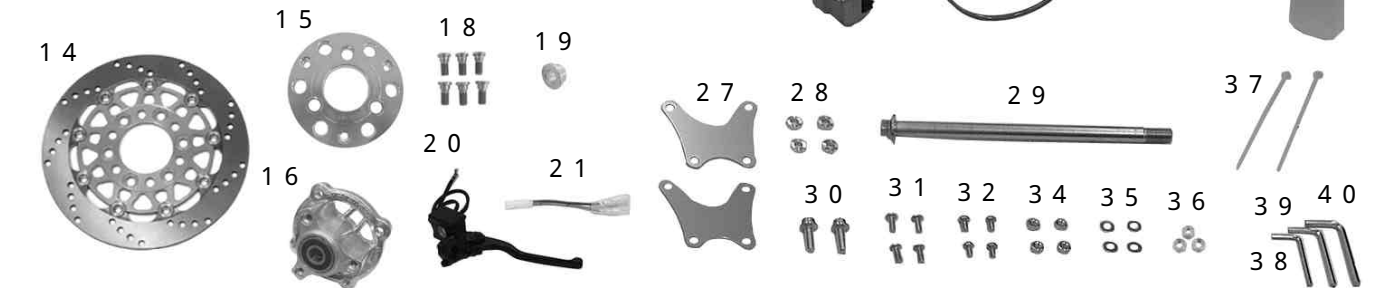
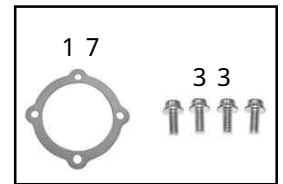
06 01 0723



06 02 0015



06 09 1306



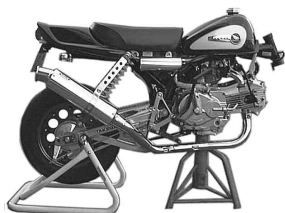
番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	R.フロントフォーク ASSY.	1	51400 GEF T10	1
2	L.フロントフォーク ASSY.	1	51500 GEF T10	1
3	トップブリッジ	1	53230-GBJ-T00	1
4	ステアリングステムナット	1	54303-165-T00	1
5	ステムナットワッシャー	1	90503-165-T00	1
6	ソケットキャップスクリュー 6x20	2	00-00-0043	10
7	ハンドルアッパーホルダー	2	54411-165-T00	1
8	ハンドルローホルダー	2	54412-165-T00	1
9	ソケットキャップスクリュー 6x50	4	00-00-0044	3
10	ステアリングステムCOMP.	1	53220-GBJ-T00	1
11	ソケットキャップスクリュー 6x25	4	00-00-0089	10
12	ステアリングロックブラケット	1	53601-GEF-T00	1
13	ソケットキャップスクリュー 6x12	2	00-00-0116	6
14	フローティングディスクローター(220mm)	1	06 08 1493	1
15	ディスクロータースペーサー	1	45212 181 T00	1
16	フロントホイールハブCOMP.	1	44604 181 T00	C
17	ホイールスペーサー 1mm	1	44600 181 T00	1
18	ディスクボルト 8x20	6	90105 165 T00	1
19	フロントホイールハブカラ	1	44313 181 T00	1
20	フロントブレキマスタシリンダ ASSY.	1	06 08 1166	1

番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
21	サブコード	1	37600 KCZ T00	1
22	フロントブレキキャリバ ASSY.	1	06 08 115	1
23	フロントブレキホース COMP.	1	45120 GEF T00	1
24	パンジョ ボルト 10x1.25	2	00 07 0007	1
25	シリンクワッシャー 10mm	4	00 07 0010	10
26	ブレキフルードDOT-4(220cc)	1	06 08 0019	1
27	フロントフェンダーステ	2	61110 181 T00	1
28	フェンダーステカラ	4	61111 181 T00	1
29	フロントアクスル	1	00 06 0004	1
30	フランジキャップスクリュー 8x25	2	00 00 0183	2
31	ボタンヘッドキャップスクリュー 6x15	4	00 00 0132	4
32	ボタンヘッドキャップスクリュー 6x10	4	00 00 0092	5
33	フランジソケットキャップスクリュー 8x20	4	00 00 0238	4
34	六角ナット 6mm	4	00 00 0128	10
35	ブレクワッシャー 6mm	4	00 00 0086	10
36	ロックナット 8mm	3	00 00 0182	4
37	インシュロックタイ 200mm	2	00 00 0179	10
38	六角棒レンチ 4mm	1		
39	六角棒レンチ 5mm	1		
40	六角棒レンチ 6mm	1		

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

## ～取り付け要領～

1. リアメンテナンススタンドとエンジン下部に適当な台を置き車両を安定させた状態で作業を行います。



2. ステアリングシステムからハンドルロックを取り外し、ステアリングロックブラケットに取り付けます。

トルク：9 N・m (0.9 kgf・m)



3. ステアリングロックブラケットをソケットキャップスクリューでステアリングシステムCOMP.に取り付けます。

トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

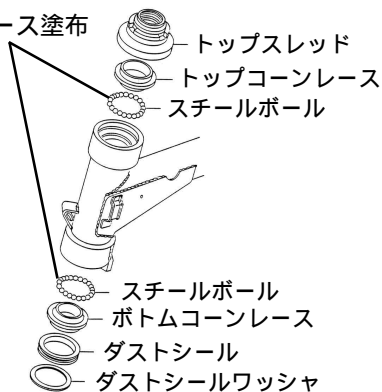


4. ステアリングシステムのボトムコーンレースをポンチドライバーやタガネ等で取り外し、ダストシール、ダストシールワッシャを取り外します。ステアリングシステムCOMP.にダストシールワッシャ、ダストシール、ボトムコーンレースをそれぞれ取り付けます。

5. トップ/ボトムコーンレースにグリースを十分塗布し、スチールボールを取り付けます。

スチールボールは取り付け前に洗浄し、ゴミ等を付けないようにして下さい。

### グリース塗布



6. ステアリングシステムをステアリングヘッドに取り付けトップコーンレース、トップスレッドを取り付け、トップスレッドを手で一杯に締め付けます。

ステムを左右に4～5回作動させスチールボールをなじませた後、トップスレッドを指定トルクで締め付けます。

トルク：2 N・m (0.2 kgf・m)

ステアリングシステムは、ガタが無くスムーズに動く事を確認して下さい。



7. フロントメンテナンススタンドを使用し、エンジン下部の台を取り除きます。

トップブリッジを取り付け、ワッシャを入れてステムナットを仮締めします。

8. ステムナットを指定トルクで締め付けます。

トルク：59 N・m (6.0 kgf・m)



9. 30フロントフォークを取り付け、トップブリッジ、ステアリングシステム割り締めボルトを規定トルクで締め付けます。

トルク：15 N・m (1.5 kgf・m)



10. フロントホイールハブにディスクロータースペーサーを付属のディスクボルトで、指定トルクで締め付けます。

トルク：25 N・m (2.5 kgf・m)



11. ディスクローターをディスクロータースペーサーに付属のディスクボルト、ロックナットで取り付け、指定トルクで締め付けます。

トルク：25 N・m (2.5 kgf・m)



12. 10インチアルミホイールに、フロントホイールハブをアルミホイールに付属のフランジキャップスクリューで仮締めします。

06 09 033 / 054のホイールを使用の場合

フロントホイールハブとアルミホイールの間に付属のスペーサーを入れて下さい。エアバルブの向きは、乗車時方向で左にくるようにして下さい。

13. フロントホイールハブにサイドカラーとスピードメーターギアボックスをセットし、フロントフォークに取り付けアクスルナットを指定トルクで締め付けます。

トルク：59 N・m (6.0 kgf・m)

サイドカラーは、径の小さい方をハブ側に向けて取り付けして下さい。

アクスルナット締め付け前にスピードメーターギアボックスの位置調整を行って下さい。



14. フロントフォークにキャリパーを取り付け、ボルトを指定トルクで締め付けます。  
トルク：26 N・m (2.7 kgf・m)  
キャリパー取り付け時、キャリパーとホイールが干渉しますので、ホイールと干渉なくなるまで取り付けボルトを緩めて下さい。

ホイール取り付けボルトを指定トルクで締め付けます。  
トルク：25 N・m (2.5 kgf・m)



15. フロントフェンダーステーとボトムケースの間にカラーを入れ、ボタンヘッドスクリュー6×15で取り付け、スクリューを指定トルクで締め付けます。  
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

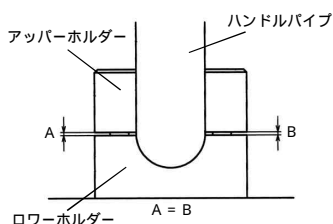


16. オプションのフロントフェンダーをフェンダーステーの間にセットします。ボタンヘッドスクリュー6×10を、フェンダーステーに差し込み、フェンダー裏側にプレーンワッシャ、六角ナットで取り付けます。六角ナットをスパナで固定し、スクリューを指定トルクで締め付けます。  
トルク：7.8 N・m (0.8 kgf・m)

フロントフェンダー取り付けは、フェンダーの説明書を参照して下さい。



17. オプションのステアリングハンドルパイプを、ハンドルホルダーにセットし、トップブリッジに取り付けます。ハンドルホルダーのソケットキャップスクリューを指定トルクで締め付けます。  
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)  
ハンドルホルダーは前後のすき間が同じになる様に締め付けて下さい。他の部品は、商品添付の取り扱い説明書を参照し組み付けて下さい。



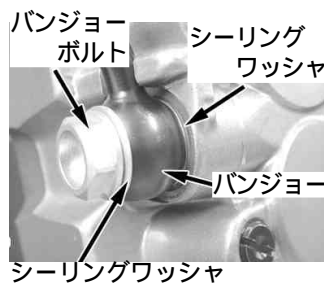
18. マスターシリンダーASSYをハンドルに取り付けます。

トルク  
マスターシリンダーASSY  
：キャップスクリュー  
12 N・m (1.2 kgf・m)



19. ブレーキホースの角度の付いている方のバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトでキャリパーに取り付けます。

トルク：13 N・m (1.3 kgf・m)



20. リバウンドしてもブレーキホースが突っ張らないようにマスターシリンダーASSYまで取り回します。

21. マスターシリンダーASSYにバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトで取り付けます。  
トルク：13 N・m (1.3 kgf・m)



22. ブレーキホースが他の部分と干渉ないようにタイラップで固定し、余った部分はニッパ等で切り取ります。バウンド、リバウンド時にホースが突っ張らないように固定して下さい。

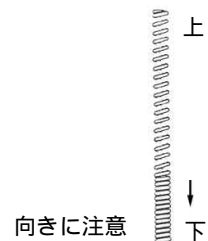
23. ストップスイッチサブハーネス、ウインカースイッチ(コンビネーションスイッチ)の配線を接続します。Monkey(FI)の場合ストップスイッチサブハーネスとサブコードを接続し、配線を接続します。

## フロントフォークオイルの交換要領

1. トップブリッジ、ステムのボルトを緩めフォークを取り外します。(フォークトップボルトを緩めてからフォークを外して下さい。)
2. トップボルトが飛び出さない様に注意してボルトを外します。オイルパン等を用意し、フォークを逆さにしてカラー、ジョイントプレート、スプリングをそれぞれ取り外します。
3. インナーチューブを伸縮させフォークオイルを抜き取ります。(数分間インナーチューブを下側にし、放置して下さい。)
4. フロントフォークを立て、フォークオイルを注入します。  
フォークオイル : 20番  
フォークオイル量 : 155cc (1本)



5. フォークスプリングに付着したオイルを拭き取り、ピッチの狭い方を底に向けスプリングを入れます。ジョイントプレート、カラーを取り付けトップボルトを仮締めします。



6. フォークをステム、トップブリッジに取り付け、トップボルトを指定トルクで締め付けます。  
トルク：20～24 N・m (2.0～2.5 kgf・m)

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
TEL 0721 25 1357  
FAX 0721-24-5059  
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
URL http://www.takegawa.co.jp

## ブレーキのエア抜き要領

### ⚠ 注意

ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。  
 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。  
 抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。  
 シーリングワッシャは再使用しない事。  
 ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。  
 ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。  
 規定トルクは必ず守る事。  
 ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

マスターシリンダーASSYの2本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



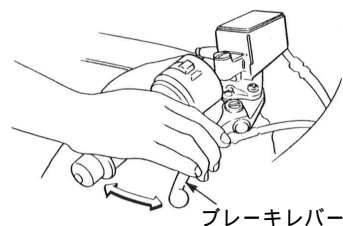
マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。  
 ブレーキオイル DOT4.

ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。  
 オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



### ⚠ 警告

ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

ブレーキレバーを握った状態のままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。  
 ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。



ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付けます。

ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで、この操作を繰り返します。

時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

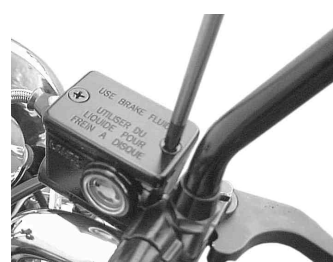
エアーの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



⚠ 注意: 必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。  
 ブレーキオイル DOT4.